

CIR (国際交流員) マリコの

Global Café



「グリーン・ティー」を知る1ヶ月

マリコ・ナイト
2016年10月 No.2



玉露 tea time!

9月に、京田辺市の玉露を知るために茶香服と言う、お茶当てクイズに参加しました。茶葉の手触りを確かめ、香りをかいでその後お茶を味わいました。

お茶は二種類、煎茶と玉露がありました（玉露は煎茶より緑色で、高級なお茶です）。京田辺市以外では、宇治、静岡、鹿児島からのお茶もありました。同じ煎茶や玉露でも、地域ごとによる加工の違い（お茶の葉を摘み取る時期や直射日光を避けた期間）によって味が結構違っていました。英語では緑茶のことを「グリーン・ティー」、と一つの表現で表しますが、実際は様々なお茶があることを知り日本茶の奥深さを知った一日でした。

また、同志社女子大学で行われた、水出し玉露の振る舞いイベントにも参加しました。京田辺の玉露を初めて飲む学生が多かったので、学生にとって玉露を知る良い機会でした。飲んだ学生からは、「美味しい」と「磯っぽい」という、二つの反応がありました。冷たい玉露を飲むとお茶というよりむしろ冷製スープのような味がして、私は美味しいと思いました。



摘み枝に変身!

「Cattle Grid」とは？



9月の活動 ALT・CIRとの交流会



私の地元、リミントンはハンブシャー州のニュー・フォレスト国立公園 (New Forest National Park) の国境にある町です。ニュー・フォレストでは自由に歩き回っている馬や牛、豚がいるため、近くにあるリミントンのような町に動物が入ってくる恐れがあります。

動物が入らないように、カテル・グリッド (cattle grid) という、障害物が町の境界線に設置されていて、橋のような物です。その橋には大きなすきまがあり、動物の足が落ちてしまうほど広いですが、車は安全に通ることができます！

今月4人のALT（外国語指導助手）と一緒に京田辺国際交流協会のイベント、ALT・CIRとの交流会に参加しました。2回行われ、私たち一人一人は出身国と出身地について発表をしました。発表の後、参加者からの質問やディスカッションの時間もありました。

私達は様々なところから京田辺市へ来ています。グアム、アメリカ、南アフリカ、ジャマイカ、イギリス。そのため、それぞれの発表は私たちにとっても興味深いものでした。

今はインターネットを検索すれば、簡単に外国について色々な情報が手に入れることができますが、実際に住んでいる人の話を聞けば、旅行ガイドに書かれていないこともたくさん知ることができます。

（次の活動について）

今月、ALTの皆さんと一緒に「保育のつどい」でブースを出展する予定です。その様子は次号でお知らせします。